

あとがき

2002年度の表現論シンポジウムは静岡県富士市大淵115の富士ハイツにて11月12日から15日まで開催されました。

シンポジウム開催にかかる費用のうち旅費の一部、会場費、講演集の印刷費は下記より援助を受けました。

1. 「調和解析研究グループの構築と共同研究の企画」 河添 健 基盤研究 (C) (1)
課題番号 14604007
2. 「群上の調和解析から見たウェイト理論—表現論と実解析の融合」 河添 健 基盤研究 (C) (2) 課題番号 13640190
3. 「ユニタリ表現の分岐則の理論と幾何構造の変換群による非可換調和解析」 小林俊行 基盤研究 (B) (2) 課題番号 14340043
4. 「等質ジークル領域上の幾何学的調和解析」 野村隆昭 基盤研究 (B)(2) 課題番号 14340044
5. 「主系列表現の分岐則と球多様体の幾何」 橋本隆司 基盤研究 (C) (2) 課題番号 14540174

概説講演は中島 啓氏、小林俊行氏、落合啓之氏が ICM 北京などで忙しいところ快く引き受けてくださいました。また分科会等の調整では松木敏彦氏がお骨折りくださいました。上記の各氏をはじめ開催の準備や運営にご協力いただいた多くの方々に紙面を借りてお礼申し上げます。

表現論シンポジウム2002

佐野 茂
飯田正敏
本田龍央